

桃解き

ももとき



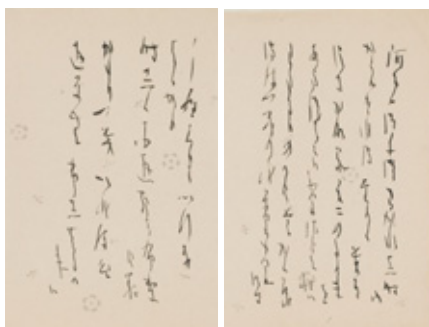
企画展 花がたみ「春立ちぬ 万葉百首より」 「万葉百首」

「天土の 分れし時ゆ 神さびて 高く貴き 駿河なる 富士の高嶺を 天の原 振り放け見れば 渡る日の影も隠らひ 照る月の 光も見えず 白雲も 行ききはばかり 時じくそ雪は降りける 語り継ぎ 言い継ぎゆかむ 富士の高嶺は」

図版は桃紅が選り書き記した万葉集の一首です。二点で一首の長歌が書かれています。

古くから人々は、富士を愛で親しくきました。桃紅もその一人です。随筆『その日の墨』（1983年）の中で桃紅は次のように書いています。

「富士は、歌にも文にも、絵にも写真にも、あまりにもなり過ぎていて、私の



『万葉百首』巻3 / 317 (山部宿禰赤人) 2000～03年

中にも、富士を知っているとすると部分があり、日々真近かに富士を見ることでその、知っているとする部分を消していることに気が付く。つまり世俗雑音の富士が消えていくのである。

古来の詩歌の中で『語り継ぎ言い継ぎゆかむ』と言った赤人の歌が、いちばん謙虚である。」

万葉集は、今から1000年以上も前に成立したとされる日本最古の歌集です。遠く昔に生まれた富士の歌が、桃紅の水墨となつてたち現れ、今も変わらぬ富士の魅力を私たちに伝えていきます。

今回の企画展では、近年の墨象作品の礎となっている桃紅の「書」の作品に注目し、『万葉百首』を中心に作品を紹介します。『万葉百首』を中心にした作品を紹介します。桃紅の軽やかな筆ゆき、そして画面に作りだされた余白は、古の和歌のびやかで装飾的なリズムと響きあい、豊かな世界を作り出しています。

- ◆会期 3月27日(金)まで
- ◆入館料 高校生以上 300円 中学生以下 無料
- ◆休館日 月曜および祝日の翌日
- ◆開館時間 午前9時～午後4時30分
- ◆照会先 篠田桃紅美術空間 (市役所7階) ☎23-7756

ファミリー・サポート・センター講習会

関市ファミリー・サポート・センターでは子育て支援活動のための講習会を開催します。

- 対象** 子育て支援に熱意のある市内在住の方 (年齢・性別は問いません)
- 定員** 各30人
- 参加費** 無料
- 申込先** 2月17日(火)までに電話でわかくさ児童センター (☎23-7774)



日時	内容	講師	場所
2月25日(水) 10:00～12:00	●かきくけこうさく 身近な物で作って遊ぼう!	●加藤理香さん (かりんとう)	わかくさ・プラザ 「総合福祉会館3階・3-1会議室」
2月27日(金) 10:00～12:00	●子どもの遊びとふれあい ●ファミリー・サポート・センターの仕組みと活動	●公立保育園長 ●ファミリー・サポート・センターアドバイザー	